

イ 施策Ⅱ 交流・連携を支えるネットワークの充実・強化

《取組方針》

- 地域産業のグローバルな経済活動を支えるため、大水深岸壁の整備など港湾物流基盤の機能強化やデジタル技術を活用した荷役の高度化・効率化を図るとともに、利用者のニーズの高い航路誘致など、瀬戸内海における国内外の港湾物流ネットワークの拠点としてグローバルゲートウェイ機能の強化に取り組む。



また、企業活動の生産性の向上や地域活動の活性化に繋がる輸送・移動の円滑化のため、井桁状の高速道路ネットワークや幹線道路へアクセスする臨港道路の整備を推進する。



- 本県が有する豊かな自然や魅力的な観光資源を生かした地域の活性を図るため、世界遺産「原爆ドーム」「厳島神社」をはじめとする観光の玄関口における港湾施設の充実を図る。また、中四国に国内外におけるビジネス・観光等の交流の玄関口として、みなとの機能強化に取り組むとともに、感染症対策も含めた安全で快適な客船の寄港環境の整備やニーズを踏まえた多様なアクティビティの発信など、海からの観光地訪問や瀬戸内クルージングの推進を図り、本県を訪れる方々の満足度やひろしまブランドの更なる向上に取り組む。



《主な取組》

- ◇ 生産性の向上など企業活動を支える物流基盤の充実
- ◇ 臨海部における物流関連用地の造成、港湾物流基盤の充実
- ◇ 利用者ニーズに対応するための港湾機能・サービスの充実
- ◇ 県西部の物流拠点における広島市東西を結ぶ物流交通基盤の充実
- ◇ 瀬戸内海の魅力を生かしたみなと環境の整備

【主な事業(箇所)】(R3～R7年度)

事業名	箇所名(所在地・地区名)	事業概要
港湾改修	広島港(廿日市～五日市地区)	臨港道路 L=1.3km
港湾改修	広島港(江波地区)	臨港道路 L=1.5km
港湾改修	広島港(宇品地区)	岸壁補修 L=420m
港湾改修	広島港(観音地区)	管理棟 N=1棟
港湾整備	広島港(出島地区)	港湾関連用地の造成
直轄事業(国)	広島港(出島地区)	岸壁(-14m) L=150m
直轄事業(国)	広島港(宇品地区)	岸壁(-12m)耐震改良 L=260m

〔施策Ⅰ〕安全・安心を支える総合的な県土の強靱化  
〔施策Ⅱ〕交流・連携を支えるネットワークの充実・強化  
関連計画 みなと振興プラン2021  
◆方針1 物流・交流を支えるみなとづくり

a 臨港道路江波線整備事業

(a) 目的

広島港江波地区では、三菱重工業株式会社と連携し、同社の遊休地を活用して港湾物流を有する新たな大規模産業用地を確保し、地域産業の持続的発展や競争力強化に資する物流基盤の強化及び産業基盤の形成を図る。

(b) 事業概要

- 事業期間 令和2年度～
- 事業箇所 広島市中区江波沖
- 事業内容 臨港道路江波線 L=1.5km

(c) 令和5年度事業内容

- 道路整備



臨港道路江波線整備事業〔航空写真(平成29年12月)〕